

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/5)	<p>第1章 微生物と微生物学</p> <p>① 人間生活への関わり（善玉・悪玉）について説明できる。</p> <p>② 微生物学の歴史（発見・貢献）について説明できる。</p> <p>③ 細菌の性状、構造と機能について説明できる。</p> <p>第2章 細菌の性質</p> <p>① 微生物（細菌・ウイルス・真菌・原虫）の種類について説明できる。</p> <p>② 細菌の命名・分類・鑑別同定について説明できる。</p> <p>③ 細菌の培養環境、栄養と代謝について説明できる。</p> <p>④ グラム染色と特殊染色について説明できる。</p> <p>⑤ 常在細菌叢の特徴と分布について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p4-12、p14-35 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 微生物、レーベンフック、コッホ、パスツール、細菌の構造（細胞壁、莢膜、芽胞、鞭毛、線毛、核様体、プラスミド、二名法、細菌の機能、好気性菌、通性菌、嫌気性菌、グラム染色、グラム陽性菌、グラム陰性菌、常在菌叢）</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>倉橋</p>
2 (9/5)	<p>第3章 ウイルスの性質</p> <p>① ウイルスの形態と特徴について説明できる。</p> <p>第4章 真菌の性質</p> <p>① 真菌の形態と特徴について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p38-47、p50-58 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] ウイルス、真菌</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>倉橋</p>
3 (9/12)	<p>第5章 感染と感染症</p> <p>① 感染経路について説明できる。</p> <p>② 生体防御発現および病原体の毒力について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p62-89 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 感染経路、微生物の病原性</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>倉橋</p>
4 (9/12)	<p>第6章 感染に対する生体防御機構</p> <p>① 自然免疫、免疫担当臓器・細胞、粘膜免疫について説明できる。</p> <p>② 免疫を担当する細胞について説明できる。</p> <p>③ 獲得免疫・細胞性免疫について説明できる。</p> <p>④ ワクチンについて説明できる。</p> <p>⑤ アレルギー（過敏症）について説明できる。</p> <p>⑥ 粘膜免疫について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p92-124 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 自然免疫、抗菌タンパク質、食細胞、NK細胞、補体、免疫担当臓器、胸腺、骨髄、サイトカイン、骨髄、胸腺、リンパ節、脾臓、抗原、抗体、抗原提示、抗原提示細胞、B細胞、T細胞、ヘルパーT細胞、アレルギー、即時型アレルギー、アナフィラキシー型アレルギー、細胞傷害型アレルギー、免疫複合体型アレルギー、遅延型アレルギー、ワクチン、能動免疫、受動免疫、扁桃、パイエル板、分泌型IgA、胸腺、ヘルパーT細胞、細胞傷害性T細胞、拒絶反応</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>倉橋</p>

5 (9/19)	<p>第7章 滅菌と消毒</p> <p>① 原理および物理的・化学的滅菌法と消毒薬の有効範囲について説明できる。</p> <p>第8章 感染症の検査と診断</p> <p>① 感染症の検査方法について説明できる。</p> <p>第9章 感染症の治療</p> <p>① 抗生物質の定義、作用機序、耐性機構、副作用が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p126-136、p138-148、p150-172 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] オートクレーブ（高圧蒸気滅菌）、ガス滅菌、γ線滅菌、グルタール、次亜塩素酸、消毒用エタノール、塩化ベンザルコニウム、グルコン酸クロルヘキシジン、抗菌薬、薬剤耐性、抗ウイルス薬、抗真菌薬</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>浜田</p>
6 (9/19)	<p>第10章 感染症の現状と対策</p> <p>① 感染症の種類と特徴について説明できる。</p> <p>② 標準予防策（スタンダードプリコーション）が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p174-191 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 新興感染症、再興感染症、日和見感染、院内感染、標準予防策（スタンダードプリコーション）、MRSA、VRE</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>浜田</p>
7 (9/26)	<p>第11章 病原細菌と細菌感染症</p> <p>① グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌について説明できる。</p> <p>② 化膿性炎の原因菌の性状と病原性について説明できる。</p> <p>③ グラム陰性桿菌、カンピロバクター属、グラム陽性桿菌について説明できる。</p> <p>④ 腸内感染症の原因菌の性状と病原性について説明できる。</p> <p>⑤ 毒素性炎の原因菌の性状と病原性について説明できる。</p> <p>⑥ 抗酸菌、放線菌、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアについて説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p196-255 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 黄色ブドウ球菌、化膿レンサ球菌、緑膿菌、淋菌、髄膜炎菌、内毒素、食中毒、腸管出血性大腸菌 (O157)、赤痢菌、コレラ菌、ピロリ菌、レジオネラ菌、シフテリア菌、破傷風菌、ボツリヌス菌、結核菌、梅毒トレポネーマ、偏性細胞内寄生性細菌</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>浜田</p>
8 (9/26)	<p>第12章 病原ウイルスとウイルス感染症</p> <p>① ウイルスの他の微生物と異なる特有な基本性状について説明できる。</p> <p>② DNA ウイルス疾患と RNA ウイルスの原因ウイルスの性状と病態について説明できる。</p> <p>第13章 病原真菌と真菌感染症</p> <p>① 真菌症の原因菌の性状と病原性が説明できる。</p> <p>付章 寄生虫と衛生動物</p> <p>② 原虫感染症の原因菌の性状と病原性が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 p258-304、p306-314、p316-338 を読んでおくこと</p> <p>[復習] 問題の演習</p> <p>[キーワード] 単純ヘルペス、水痘-帯状疱疹、インフルエンザ、ムンプス、麻疹、ポリオ、風疹、肝炎、エイズ、腫瘍ウイルス、カンジダ菌、誤嚥性肺炎、マラリア、トキソプラズマ</p>	<p>講義・確認試験</p> <p>浜田</p>